特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY 広報誌

2021.3.25 発行 ￥200

やっちき通信

214号

3月20日現在
子ども会員：135人
正　会　員　：　35人
賛助会員：239人
32団体

春の人形劇フェス
ぼくピンチなんです！
三びきのやぎのがらがらどん

もくじ

しりたがり/おとな塾・・・・・・・・・・・・・・・02
トロル初公演/Open the Door・・・・・・・03
和菓子にチャレンジ!!・・・・・・・・・04～05
特集～ぼくピンチなんです!・・・・06～07
特集～祝!卒業～・・・・・・・・・・・・・08～10
YEARNERS LIVE・・・・・・・・・・・・・11～12

やまもとかずこの知りたがりやトーク

桜の開花宣言から１週間、二河川沿いの桜も咲き始めました。例年よりずいぶん早い気がするけど、もしかして暑くなるのも早いの？…そんな心配はちょっと横に置いといて、町中がピンク色に染まるこの季節、心ゆくまで楽しまなきゃあもったいない！♬重いコート脱いで出かけませんか？♬

３月 21 日、卒業生の送り出しライヴ。ギリギリまで降っていた雨も開始時刻にはあがり、予定通りにスタート。神様も粋な演出をしてくれるもんだ(笑)まずは開会宣言に続きバンド演奏、その合間にはクイズやビンゴゲーム、YYY の高校生スタッフが３か月かけて準備をすすめてきたプログラム。11 月のイベント後は、よかったと言いながらも笑顔が無かった彼等。最高の形でリベンジしやがった。プログラムの最後は卒業式ではなく壮行式。泣かせる送辞に感謝の気持ちがいっぱい伝わってきた答辞、そして参加した卒業生たちが順に一言ずつ今後の抱負を語った。その一人が「高校生がこんな大きな企画をしているなんて知らなかった。次にやるときは、ぜひ声をかけてほしい！」とコメント。やったね！そ

の時点で今回の企画が大成功だったことは言うまでもない。

高校生企画を進めるたびに若者のパワーはスゴイ！って思う。YYY の高校生スタッフはもちろん、バンドメンバー、終日、裏方の手伝いをしてくれた彼らの友人たち。みんないい顔して、それぞれの役割を果たしていた。さらに今年は、大学生のサポートも。彼らが動きやすいように、気配りしている姿、ちゃんと見てましたよ。高校生・大学生の活躍は、周囲の者に元気をくれる。今春は、高校吹奏楽部の定期演奏会や各種音楽イベントも予定通りに実施されている模様。まだまだコロナ禍ではありますが、できるだけ会場に足を運んで…元気を分けてもらおうぞ！

―啓発広報部 おとな塾―

今回のおとな塾は、ちょっぴり大人な気分になれる『JAZZ＆POPS　LIVE』。ピアノ演奏に三浦雄希さん、ボーカルに松原杏さんを迎え、音楽ホールで行いました。

最初の曲、杏さんの初めの一節に「カッコいい～。」とつい声を漏らしていた私。ハスキーな温かい歌声で、ジャズにぴったりの声質！初めて聞いたジャズの生演奏でしたが、伴奏が入るタイミングとか、歌いだすタイミングとか、生じゃないと感じられない呼吸があるんだなと。

お客さんの前で歌うのは１年ぶりという杏さん。コロナ禍でオファーがゼロになり、歌は必要ないと言われている気がして、もう歌えないかもしれない、と悩んだそう。MC では歌う場所があること、聞いてくれるお客さんがいることに、何度も感謝の言葉を言われていました。

3 月 17 日(水)生涯学習センター音楽ホール 参加 52 名

私もよく知っている曲を歌った時。それまでは歌と遊んでいるようで、楽しそうに歌う人だなと思っていましたが、その時は声が力強くなり、「この縁に感謝したい」、その気持ちがズーンと伝わってきて…少しウルっとしてしまいました。

参加者の１人が「久しぶりにゆっくりとした時間が過ごせた。」と話していました。私も同感。甘えん坊の３歳の息子に振り回され？気づいたら夜。自分の時間も持ちたいけれど、夜９時には一緒に寝てしまう日々。先日の人形劇から、息子だけでなく、自分自身が楽しめる時間に出会っている気がする。そんなひとときを大事にしたいですね。　(岡下瞳美)

春の人形劇フェス 三びきのやぎのがらがらどん

YYY の人形劇サークルに、子育てママたちが新しく加わっての初公演！公演前は緊張のあまり、お昼も喉を通らない…！？

でも、そんな心配も何のその！子どもたちは釘付け！トロルの登場にビクッとしたり、怖くて泣き出す子も！トロルが橋の下に隠れてヤギを待つシーンでは「隠れてないよぉ～」と子どもたちの声が！舞台裏でメンバーが「よし！」と思った瞬間だった。大きいヤギがトロルをやっつけて、みんなで草場に向かう時には、音楽のリズムに合わせて、手拍子も起こり、会場が一体となっていた。(しるこ)

子どもが泣いてしまうほど、トロルの演技が迫力あってとても面白かったです。ありがとうございました。　(40 代)

音楽とセリフがとても合っていてよかった。上手でした。　(幼稚園児)

Open the Door

「何度も聞きたがるのは…」
著：小林いづみ

『三びきのやぎのがらがらどん ノルウェーの昔話』(マーシャ・ブラウン え/せたていじ やく/福音館書店)

ある絵本会のあと、4 歳になる A ちゃんという、元気いっぱいの女の子と遊びました。彼女の最近の一番お気に入りの絵本、『三びきのやぎのがらがらどん』の劇遊びです。ご存じの方も多いと思いますが、この絵本では、小さいやぎ、中くらいのやぎのあと、最後にやってきた大きいやぎのがらがらどんが、めでたくトロルをやっつけます。「大きいやぎのがらがらどんしてね」と、私に主役の座を譲ろうとするので、「A ちゃんがすれば？」というと、「だってあたしはまだ小さいもん。トロルはこわい」と、小さい声でささやくのです。そして、そのあと、声を大きくして、「でも、5 歳になったら、中くらいのやぎになる。6 歳になったら大きいやぎになるよ！」目を輝かせてそういう彼女を見て、大きく強くなりたい、成長したい！という子どもの気持ちが、痛いほど伝わってきました。『子どもたちの心に届ける自然・ことば・遊び　松岡享子ロングインタヴュー』(木城絵本の郷)の中に、こんなことが書いてありました。ある保育園での『三びきのやぎのがらがらどん』の劇遊びの話です。最初は遊びに加わらず、ただ見ていた男の子が、そのうち、小さいやぎのがらがらどんの役をするようになり、それから中くらいのやぎになって、大きいやぎになって、とうとうトロルの役をした…というのです。何回も繰り返し遊ぶうちに、子どもの内面で変化がおこり、こわさを克服し、成長していく。そして、がらがらどんのお話を血肉化し、その時には、「…おそらく、人生でトロルに象徴されるようなおそろしいものに出会っても、かならず克服できる、という信念のようなものも育っている。」(42p)と書かれていたことが、私自身の A ちゃんとの体験と重なりました。子どもは、何度も何度も同じ話を聞きたがります。(あるいは、何度も何度も同じ話で遊びます。) そして、お話の中に入りきってその世界を体験し、それを糧として成長していくのです。『三びきのやぎのがらがらどん』の力も改めて感じたできごとでした。

—子ども活動部 和菓子にチャレンジ！！—　　3月7日(日)広まちづくりセンター 参加者50名

昨年は、緊急事態宣言に伴う全校一斉休校になったばかりで、中止にせざるを得なかった「和菓子にチャレンジ！」。

どうにか今年は開催したい！とあれこれ考えた。1テーブル1組で7組限定、食べずに持って帰ってもらおう、で、3回やればみんなが楽しめる！と、1日3回やっちゃいました。

作りたいものを決めてくる子もいるけど、その場で本を見たり、周りの人とおしゃべりする中から決める子もいて、その時間も大切だと思う。作るものを決めたらそこからは早い！「カギつきたからばこ」や「ベニテングタケ」「ハリセンボン」など、お店には絶対売られていない独創的な和菓子が次々とできていく。お父さんが作った「弁当のおかず」は本物オムライスそっくりで美味しそう。中でもお皿からはみ出し今にも動き出しそうな「ドラゴン」は圧巻！もちろん「うさぎ」「なでしこ」「いちご」などのかわいい和菓子もいっぱい！みんなの作品を見て回る時、一人一人の和菓子にその人らしさが表れているな～と思った。練り切りというだけあって、手の中でネリネリしているだけで気持ち良く、私は密かに「食べれる粘土」と呼んでいたけど、いやいや粘土以上よね。色が付けれる。想像し創造できる。しかもおいしい！男女も年も関係なく誰でも楽しい、和菓子にチャレンジ、最強じゃん！帰るときのみんなの顔を見て、ホントやって良かった～。スタッフのみなさん、長時間ありがとう！(くぼ)

高校生がマジでおすすめ！

ちかちか文庫 コレクション

三度の飯より本が好き！あなたに絶対読んでほしい本をご紹介。大人も子どもも愛読書が見つかりますよ。

ご無沙汰してました、ちかちかです♪今回は、コロナ自粛中に出会った本のひとつを紹介します！『ちどり亭にようこそ～京都の小さなお弁当屋さん～』という本で、作者は十三湊さんです。

昔ながらの家屋が残る姉小路通沿いに、こぢんまりと建っている仕出し&弁当屋「ちどり亭」。季節の食材を使った、栄養満点で彩り鮮やかなお弁当が並ぶ。店主の花柚さんは「将来の旦那さまのために」小学 4 年生の春に料理を習い始めた。先生の教えに従い、「お料理練習帖」を付けていた。わけあって途中から「お弁当練習帖」に変わったけれど、ノートには 15 年間の記録が残されている。そんな花柚さんに拾われたのが 19 歳の大学生、慧太。慧太はアルバイトとしてちどり亭で働き始める。

それまで食事はほとんどファストフード、ご飯の区別は「白米、玄米、それ以外」くらいだった慧太は、花柚さんと料理を作るうちに色々なことを覚えていく。季節の行事や人との関わりも楽しむようになる。心を込めてつくる美味しいお弁当は縁を結ぶ。慧太が初めて大切な人のためにつくったのは…？

花柚さんは天真爛漫で、口癖は「美味しい！わたし天才かも！」(笑) でも、作る料理はほんとに美味しそうなんです。作ってる姿は楽しそうで、心から料理が好きだから美味しいものができるんだろうなーと思います。慧太は、不器用な所もあるけど、根がとっても優しくて、人のことを思って動けるのが素敵だなと思います。そんな 2 人と、ちどり亭の居候、美津彦さん(花柚さんの従兄)のやりとりはとってもおもしろいです！

また、この本には「七十二候」という季節の言葉がそれぞれの章に付けられています。例えば、最初の章は「桜始開」(さくらはじめてひらく)という言葉です。風情があっていいなー、と思いました。これはちょうど今くらいの時期の言葉ですね！コロナ自粛でバタバタしたり、憂鬱になったりしがちですが、もう桜の咲く季節です。きっと皆さんの周りにも桜やきれいな空、美味しい料理など、心を明るくしてくれるものがあると思います。ぜひぜひこの本を読んで日常のほっとしたひと時を味わってみてください！

阿賀まちづくりセンターの 3F に上がると、なりきりグッズや絵本たちが、みんなをお出迎え。

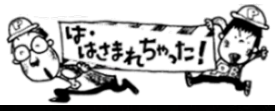
9 年ぶりの『ぼくピン！』お天気は雨だったけれど、会場内は笑いが溢れ、心晴れ晴れでしたよ♪

舞台には 2 つの箱。音楽が流れるとガサゴソと動き出す。すると、子どもたちから笑い声。へっ！？こんなことで笑えるの？それは、北村さんとつげさん 2 人だからなせる業。さすが子どもたちの心を掴むの早っ！言葉の掛け合いに親父ギャグも入り、大人の心もキャッチする。そして、ピンチバスターズの登場で 3 つのお話が始まる…。

北村さんの手にかかると、人形が生きているかの様で凄い！もれそう感が伝わり、自分もモゾモゾしてしまう。間に合わなかった時のやっちゃった感と開放感もじわじわと伝わってくる。わかるわかる！

セリフはないのに、ネズミとネコのやり取りにハラハラさせられる。隠れていたネズミがネコに見つかりそうになると、子どもたちが「キャー！」。食べられそうになってまた「キャー！」。鉢合わせるタイミングが絶妙で面白い。

観ている子どもたちの反応が可愛い。ピンチバスターズが、ピンチを救えないから解散する！とか言い出した時には、手を伸ばして本気で「だめー！」とかって言うんだもん。



「しっぽボーン」ができなくて、お父さんと喧嘩し家出した子だぬきと、コワそうだからとずっと除け者にされてきた寂しいオオカミのお話に、子どもたちは真剣な眼差し。オオカミが崖から落ちそうになった瞬間、「わぁ～！」、それを助けるために子だぬきが「しっぽボーン」をする場面では会場のあちこちから「頑張れぇ～」の声…。「しっぽボーン」で無事オオカミ救出成功！2 人が空を飛び、三日月 を滑り台にしたり、子どもたちの頭上まで飛んでいったりと、飽きさせない演出。観ている人たちを虜にする。

3 月 12 日(金)阿賀まちづくりセンターホール 参加者およそ 150 名

会場のみなさんの声

子どもの反応がすごかった！！
（50 代）

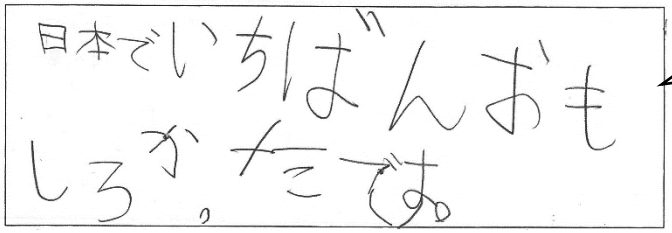
オオカミとタヌキが、助け合うところに感動した。（小 3）

ピンチバスターズが面白かったです。ねずみのしっぽが取れたのが面白かったです。トイレに間に合わなくて、おもらししたのが面白かったです。（小 3）

ねずみのピンチの話が面白かった。3 歳になった子どもが、ちゃんと見るかなぁーと思っていたけど、ゴソゴソしつつも視線はずっと舞台を向いていて、笑いながらしっかり見ていました。(30 代)

崖の上の子たぬきのお話は、すごく好きです。オオカミが子たぬきを助けようとして、落ちて木に引っ掛かり、いらない子は自分だと告白し、子たぬきが一世一代で助けるところ。社会の裏も表もあってすごくいい。（60 代）

今年、高校生になる息子が小学生の時にも拝見しました。「あなたがうまれるまで」も 2 度見ました。お 2 人ともお変わりなく、声も動きもキレがあり、素敵でした！楽しいことが少なかったので、本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。（40 代）



（幼児）

会場を後にする人たちはみんな笑顔。「おもしろかったぁ～」「すんごく良かった」とわざわざスタッフに伝えてくれる。また、ピンチバスターズの北村さんからは「知り合いが亡くなり、ずっとハートブレイクだったけど、この公演をしてみんなの反応で元気になれた」と言ってもらった。

人形劇デビューしたトロルのメンバーからは「達成感が味わえてよかった。」と…。コロナ禍のこんな時だからこそ、何か元気が出るものを！と企画し、やって良かったとホントに思えた。（しるこ）

【日にち】4 月 24 日(土)
【 場 所 】ビューポートくれ大会議室
＊詳しくは挟み込みチラシを！

—特集 祝！卒業—

コロナ禍では 2 回目となる卒業式。今年度は行事も少なく、夏休みも短く、毎日検温したり、授業は詰めこまれたり…と子ども達にとって、ストレスフルな学校生活だったかもしれません。高 3 は共通テストで右往左往したことも。そんな 1 年を乗り越えての卒業。色々な不安を抱えながらも、それぞれの次のステージへ向かってゆく姿に、私たちはいつも、元気をもらっています。みんなが安心して大人になれるように、私らもしゃんとせんにゃいけんね！

みなさん、卒業おめでとうございます！（YYY スタッフ一同）

呉三津田高校を卒業しました。本当にあっという間な 3 年間でした。野球がしたいな～と思って入学したのですが早々に身体を悪くしてしまい、また勉強も難しくて、入ってすぐはかなり苦しい思いをしました。ですがたくさんの面白い仲間に出会い、一緒に過ごすことができ、とても楽しく充実した学校生活を送ることができました。広島から離れた大学に通いますが、自立して、やりたいことができるように楽しんで生活を送りたいと思います。 (松本和馬)

呉宮原高校を卒業しました。在学中は勉学に励み、部活動もソフトボール部に入り、頑張ってきました。そんな私は広島修道大学に進学することとなり、非常に楽しみな気持ちと、少し不安な気持ちが混じっていますが、勉学、部活動、友人関係、バイトなどに精進していきたいと思います。

YYY にもちょくちょく行きたいと思うので、その時はお世話になります。 (濱本翼)

呉三津田高校を卒業しました。思い出は沢山あります。特にチア部では行事毎のダンス、野球応援、GENIUS の結成等書ききれない程。でも 1 番は大好きな友達が出来たことです。この学年は豪雨災害、コロナウイルス、共通テスト等大変な事が沢山ありましたが、無事受験も終えて、自分の夢に向かってこれから進むことが出来ます。それは私達を支えて下さった沢山の人達のおかげです。大学で勉強し、今度は自分が支えられるようになりたいです。 (高村文華)

あっという間に 3 年間が終わってしまいました！思い出の中でいちばん大きいのは部活動です。私はチア部に所属していて特に私たちの代は仲が良く Genius というグループ名で 3 年間過ごしてきました笑 勉強がだるいなと思った時も放課後 Genius に会えると思えばどんな 1 日も happy にしめくくることができました！これからの大学生活は楽しみ 5 割不安 5 割ですが、4 年後には満足 10 割で終えられるよう頑張っていきます！

(土屋美咲)

気がついたら高校入学してて、気がついたら行事が終わって季節が過ぎていって、気がついたらもう卒業ということで不思議な感じがするし驚いてます。3 年間で楽しいこと・つらいこと・嬉しいこと・嫌なことがそれぞれたくさんあって、いい経験ができた充実した学校生活が送れたと思ってます。

さて、また新しい環境で学び成長していくことになります。僕は看護系の学校へ進学します。新しく学ぶ事ばかりで大変になると思うけど、将来看護師になって大勢の人を助けられるようになるために頑張ります。そして、時間に余裕があるうちに、買い溜めてた本を読み切りたいと思います。 (マーサ)

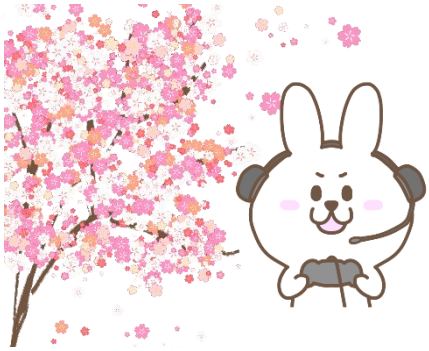
みなさん卒業おめでとうございます。僕は春から大学生になります。高校もめちゃくちゃ楽しかったけど部活や勉強に忙しく、ライブに行ったりバイトをしたりバイクに乗ったりしている中学の同期が羨ましくもありました。両親をはじめここまで支えてくれたすべての人に感謝の気持ちを忘れず、学業に励み自分の将来の為に力を蓄えながらも、けたたましく鳴く蝉のように今から人生の夏休みを謳歌したいと思います(笑)

(藤田駿野)

何事も全力で！
音楽を楽しむぞー！(谷宙音)

私のやりたいことは２つあります。１つは、文化祭で友達と楽しくすることです。そして仲よくなりたいです。もう１つは、中学校でも新しい友だちをつくりたいです。

今までは、下級生と仲よくしていたので年上の人たちと仲よくしていきたいです。今まで仲よくしてくださった下級生、先生がた、年上の人たち、ありがとうございました。 (若松芽衣)



今、YouTube とゲームに夢中です。おもしろい実況者さんを見つけて以来、時間がある限りそのチャンネルの動画を見ています。その動画を見てからゲームをすると、より一層楽しくなります。見るだけじゃなくて、ぼくもゲーム実況をしたくなりました。みんなに楽しんで見てもらえるゲーム実況をしてみたいです。

でもわが家では、勉強をしないと YouTube やゲームができないので、いっぱい勉強して、いっぱいゲームもしたいです。 (大野雅躍)

私は、ペットショップの店員になって、動物たちのおもちゃやご飯などのポップをつくりたいです。私は、お客さんが「これ、うちの子が喜びそう」とか思ってもらえるようなポップがつくりたいです。また、動物たちのケースによくはってある、動物についての説明もつくりたいです。 (伊藤芽生)

やりたい事が…いっぱいあるな…ゲームの大会に出たい、バイトをしたい、旅行に行きたい、友達と夜通し遊びたい、良い成績を取りたい、おしゃれしたい。う～む、お金足りなそう！時間も絶対ないじゃん！！

高校の先生に聞いたんだ～。「大学４年間って早いですか？」って。そしたら「あっという間や。じゃけん時間をムダにするな！考えるより先に動いた方が楽しいぞ！」だって。先生、ワタシ、頑張ります！

ここまでノリで文章書きましたが、ちょっと真面目に。「やらない後悔よりやる後悔」大学生活、アクセル全開で駆け抜けたいです。 (藤井智大)

誰かの力になったり、人を楽しませたりできる事をしたいです。自分がその人の支えになったりできるような事、それが職業とかじゃなくても、そういう活動がしたいです。自分が何かをすることで、その人が笑顔になったりしてくれるようになりたいです。そうなれるまでに時間がかかってしまうかもしれないけれど、誰かにとっての「支え」とかそういう存在になれるといいなって思います(笑)。だから勉強とかもしっかりがんばって中学生になっても明るく楽しくときには真面目に、すごしたいです(*'ω'*)　　(開内悠)

3年間辛かったけど、人間関係が学べました。これからはこの経験を活かしていきたいと思います。　(中3)

3月1日天気は晴れ。入学式も遠足も文化祭も学校行事の大半が雨模様だった私たちにしては、珍しくすっきりした青空の下、卒業式を迎えれました。思い返せば色々なことがありました。過ぎてしまえば早いものです。後輩たちには高校3年間、ポヘーとしているとあっという間だよと伝えたいです。大学では自分が学ぶことができるということに感謝し、今まで以上に方々にアンテナを張って様々なことを吸収していきたいです！　　(なつ)

私の将来の夢は「人の役に立つ、誰かを笑顔にさせる事」です！ありきたりだし大きすぎる夢かもしれないけど、昔からこれだけは決めて生きてきました！(笑)

今目指しているのは看護系だけど誰かを助けた時、話している時の笑顔を見るのが大好きで、感謝されると凄く嬉しいので今後色んな事に挑戦して自分に1番合うものを探してもっともっと沢山の人を笑顔に元気に出来る人になりたいです！！　　(中村風花)

私は受験をし、広島県立広島中学校に入ることになりました。部活はバドミントンか弓道がいいな～と思っています。今まで本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします！　　(P.N M.I)

みんなの次のステージ、応援してるよ!

—特集 高校生企画～YEARNERS LIVE—　　3 月 21 日(日)集いの広場 参加者およそ 90 名

雨も午前中で何とか止み、学生から大人までたくさんの方にご来場頂きました！クイズ、ビンゴ大会と高校生バンドの逆るエネルギーで会場にはたくさんの拍手と笑顔があったように思います。もう一つのコンセプト、卒業生送り出しも、卒業式さながらの送辞・答辞、真心こもったプレゼントで大成功に終わりました！

顧問として高校生企画に関わるのは 2 回目ですが、直前までバタバタしてしまい、私もまだまだだなと反省。しかしそれ以上に、実行委員たちのやり切ったという声に喜びを感じました。主体となって企画・運営した達成感とはまた別の感覚に、顧問っていいなぁと思いました(笑) 企画を重ねるごとに少しずつ成長している高校生たちです、次はどんなことを、と今から楽しみに思っています！(あかり)

出演者やスタッフを誘うことを頑張りました！1 年前のイベントで参加してくださった方々は卒業される方が多くて、出演者は集まるのだろうか…と不安に思っていましたが、なんと続々と出演したいとのお声を頂けました！本当に前回いいイベントに出来て良かった、また今回も絶対成功させるぞ！という決意で頑張りました！楽しいイベントになったと思うので次に繋げたいと思います！(はるや)

僕はリーダーを務めました。卒業生を祝うライブ。古参の Sayouten や Do 路憑式、初出演のピロリ禁など、計 5 組に盛り上げて頂きました！

今回は送辞を読む機会があり、いざ自分がとなると、1 から内容を考える必要があることや読む難しさを知り、思った以上に大変でした。

また僕は 2 月からほぼ毎週、部活の練習試合や、試験の宿題の追い込みがあったり、初めて三津田のバンドを 2 組呼べたと思えば用事が重なり出演できなくなったりして、モチベーションがガクッと落ちていきました。他のメンバーに任せきりにせず、物事の共有を促すなどもっと主体的に考えられる部分も多くあったはずでした。

受験生になるけどまた企画したいなー！　(海晴)

—特集 高校生企画～YEARNERS LIVE—　　3 月 21 日(日)集いの広場 参加者およそ 90 名

私は企画側と卒業生側として参加し、MC も担当。大勢の前で話すことは初めてでとても緊張したのですが、何事もなく終えられたので良かったです。

壮行式では 1 人ずつコメントをする場面も。学校の卒業式では在校生や保護者の参加が制限され、なかなか多くの方に今のステージから旅立つ決意を見届けてもらうことができなかったので、他の卒業生にとっても良い機会になったのではと思いました。式の最後に記念品をいただきました。サプライズで見つからないように準備したり、メッセージ書いたりしてくれていて、こんなにしてもらえるのは本当に有難いな、嬉しいなと思いました。　(なつ)

昨年に引き続き、「卒業生へプレゼントを渡したい」と私が言い出したことがプレゼント製作の始まりでした。最初は、学習支援ボランティアや高校生企画で一緒に活動した先輩方に渡す計画でした。しかし、参加して下さるバンドに多くの卒業生がいらっしゃり、どうせなら来てくれた卒業生全員に！と裏企画が始動したわけであります。

バンド、不特定の参加者の卒業生にプレゼントを作ることは今までになく、手探り状態でした。間に合うのか、数は足りるのか、喜んで貰えるのかなど多くの不安がありました。当日もハラハラしながら進行をしました。

この裏企画はサプライズにしたかったため、MC のなつさんに絶対バレないようにしなければ！と、気が気でない毎日が今では懐かしく思えます笑

プレゼントを贈るため卒業式をアレンジした「壮行式」を執り行いましたが、これも初めてで、内容が固まったのはイベント前日。余裕をもって企画を進めようとしましたが、どんどんやることが浮上し、「余裕」はまさに、風の前の塵に同じでした笑

今後の課題はスケジュール調整、全員が共通認識を持つためのわかりやすい資料の作成・説明、のように感じました！以上、やりたいことが多すぎて常に分身したいと嘆くみくでした！　(みく)

■発行日：2021 年 3 月 25 日(毎月 1 回発行)■発行責任者：米本美千恵
■発行元：特定非営利活動法人 呉こどもNPO センターYYY 〒737-0051 呉市中央 3 丁目 11-12PANビル3F
■連絡：0823-24-5646■WEB：http://kure-yyy.org